



学校教育目標

- ・児童生徒の個性や能力・特性を生かして、基礎的・基本的な学ぶ力を育成する。
- ・基本的な生活習慣を確立し、健康で心豊かな児童生徒を育成する。
- ・日常生活や社会生活で必要な知識・技能を養い、社会の一員として生きる力を育成する。
- ・多くの人たちとの交流を通し、人と共に積極的に活動できる社会性を育成する。
- ・社会自立に向け自己達成感や自己有用感を養い、自信と意欲を持つ児童生徒を育成する。

群馬県教育ビジョン (R6～R10)

「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」

ウエルビーイングが重なり合い 高め合う共生社会へ向けて

エージェンシーを発揮し 自ら学びをつくり
行動し続ける「自律した学習者」の育成

- 国・県の方針 学習指導要領／群馬県教育振興基本計画／第3期群馬県特別支援教育推進計画／学校教育の指針／指導の重点

経営方針

- 「今日やることに期待感をふくらませて通う学校」「保護者から信頼される学校」「地域から『あって良かった』と思われる学校」「やる気を引き出し主体性を育む学校」づくりを進める。
- 研修や授業検討、教材研究に取組、探究心・向上心をもち学び続ける教職員を育成する。
- 特別支援教育のセンター的機能を発揮して、地域の特別支援教育を推進する。
- 子どもも教職員も人権を尊重し、心豊かに学校運営に当たたる学校風土づくりに努める。

具体的な取組

＜学習指導の充実＞

- ・アセスメントに基づいた学習計画の作成
- ・「やってみたい」「できた」「分かった」が実感できる教材や発問の工夫とICTの活用
- ・かわり合い、学び合いながら授業に取り組める指導計画の工夫
- ・自力解決できる状況づくり

＜教職員の専門性向上＞

- ・子ども理解と人権感覚の研摩
- ・障害特性の理解とニーズに応じた適切な指導と支援
- ・担任を支える組織・体制づくり
- ・チーム・ティーチングの機能強化

＜センター的機能の充実＞

- ・地域における本校の役割の把握
- ・早期からの継続的な就学相談
- ・幼保小中高の巡回相談支援
- ・特別支援教育に関する研修会の実施や学校HPを活用した積極的な情報提供

＜学校運営への参画＞

- ・チーム「藤特」の一員として、役割と責任をもって、積極的な業務の遂行



- ・「働き方改革」と「働きがい」の調和を図り、よりよい学校づくりに貢献できる帰属意識の高まり